

取付説明書

通信型ドライブレコーダーユニット

TMX-DM03

お車への取り付けは、必ずこの取付説明書と取扱説明書の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガ、正しくサービスが提供されない原因となる場合があります。この場合は、製造元では一切の責任を負いかねます。

また、端末の取り付けに際し、次のことを必ず確認してください。

- 端末を取り付けるお車が平坦な場所に停まっていること
- 端末が通信圏内であること
- 本書と取扱説明書の説明を確認すること

本書の見かた

表記	意味
⚠ 警告 / ⚠ 注意	取り扱いで注意していただきたいことや、端末の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて、説明しています。
📝 メモ	操作するうえでのヒントや、機能に関する補足について説明しています。
[○○]	端末の画面に表示される選択項目を表します。
→ P.XX の [○○] (→ P.XX)	参照していただきたい箇所を説明しています。 P.XX：参照箇所のページ [○○]：参照箇所のタイトル

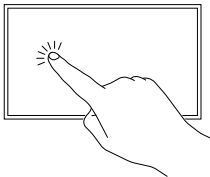
- 本書では、microSD メモリーカード、microSDHC メモリーカード、および microSDXC メモリーカードを総称して「microSD カード」と表記しています。
- 本書では、通信に必要な電波強度を満たしている場所を「通信圏内」、満たしていない場所を「通信圏外」と表記しています。
- 本書で使っているイラストや画面例、メッセージの内容は、実際の製品と異なることがあります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

タッチパネルで操作する

画面をタップやドラッグすることで、さまざまな画面の操作ができます。操作方法は以下のとおりです。

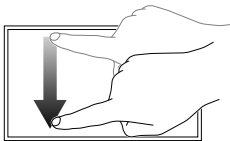
■タップ

メニュー項目やアイコンを指で軽くたたきます。



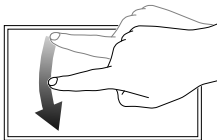
■ドラッグ

タップしたまま、目的の場所まで指をスライドします。



■フリック

タップしたまま、移動したい方向へ指を軽くはじきます。



端末を取り付ける

取り付ける前に知ってほしいこと

⚠ 注意

- シガーソケットまたはアクセサリソケットのないお車には取り付けできません。
- 取り付け作業は、お車を平らな場所に駐車し、かつ通信圏内で行ってください。
- 台座の両面テープは貼り直すことができません。一度貼り付けると剥がしたときに粘着力が弱くなります。貼り付ける位置および付属のシガーライター電源ケーブルが引けるかを十分に検討してから貼り付けてください。
- 端末を取り付けるときは、お車の取扱説明書を確認して自動ブレーキなどの「運転支援システム」の妨げにならない場所を選んで取り付けてください。不明な場合は、自動車メーカー様、自動車ディーラー様にご相談ください。
- 保安基準に適合させるため、本書をよくお読みになり、正しく取り付けてください。保安基準とは、道路運送車両の保安基準第 29 条および細目を定める告示第 183 条 (平成 25 年 11 月 12 日施行)、第 195 条 (平成 28 年 6 月 18 日施工) をいいます。
- 端末は、フロントガラス取り付け専用です。フロントガラス以外や車室外には取り付けないでください。
- 必ずフロントガラスの指定の位置・寸法内に取り付けてください。
- 端末を覆ったり、カメラを汚したりしないでください。
- 端末を落としたり、端末のカメラ部分に触れたりしないよう、取り扱いには十分ご注意ください。
- お車によって、指定の位置や寸法内に取り付けられないことがあります。
- お車のフロントガラスにコーティング剤や特殊加工（熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど）が施されている場合は、GPS の受信や録画品質に影響する可能性があるため、自動車メーカー様、自動車ディーラー様にご確認ください。
- 端末を取り付けるお車のフロントガラスの上部に遮光フィルムが施されている場合は、端末のカメラ部分が遮光フィルムにかかるとドライブサポート機能や録画品質（映像が青くなるなど）に影響する可能性があります。
- 取り付け作業は、空気中にゴミ、ほこりなどが少ない場所を選んで行ってください。
- 気温が低いときやガラスがくもっている場合は、接着力の低下を防ぐため、車内ヒーターやデフロスタースイッチをオンにしてフロントガラスを温めておいてください。

- お車のエンジンを切っても、端末が**スリープ状態***にならない車種（常時電源車など）の場合、端末を利用しないときは必ずシガーソケットまたはアクセサリソケットからシガープラグを抜いてください。抜き忘れるとお車のバッテリー上がりの原因となります。

* **スリープ状態**とは、ACC 電源の供給が絶たれた際、内蔵バッテリーの消費を抑えるために一部機能に制限をかけた状態のことです。

- 取り付けにはメジャーなど距離の測れるものが必要なためご注意ください。
- 取り付けにあたっては、取扱説明書および本書をよくお読みください。
- 付属のシガーライター電源ケーブルは、端末のみで使用することを目的とした専用品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となります。また電源ケーブルは端末に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源ケーブルを使用した場合、端末の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱により火災・感電の原因となります。
- 電源ケーブルの被膜を切って、他の機器の電源を取るなど、分岐配線をしないでください。電源ケーブルの電流容量がオーバーし、ケーブルが過熱して、火災や感電、故障の原因となります。
- 端末の設置位置や車種によっては、お車のサンバイザーと端末が干渉することがあります。また、サンバイザーがサブカメラの画角範囲を覆ってしまうと、サブカメラを使った機能が制限されることがあります。

- 「お客様ご自身では取り付けができないお車の場合」や「取り付けサービスをご希望される場合」には、販売店にご相談ください。

* 取り付け工賃などはお客様ご自身でご負担いただきます。

お客様ご自身では取り付けできないお車（例）

<例 1 >

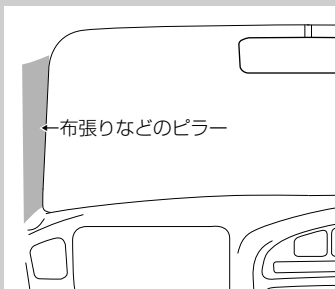
フロントガラス脇のピラーの表面を確認し、[SRS][AIRBAG]などの表示があるお車の場合



写真は一例です。

<例 2 >

ピラー周囲のゴムをめくることができず、かつピラー表面が布張りなどケーブル固定用テープが貼り付けられない素材のお車の場合



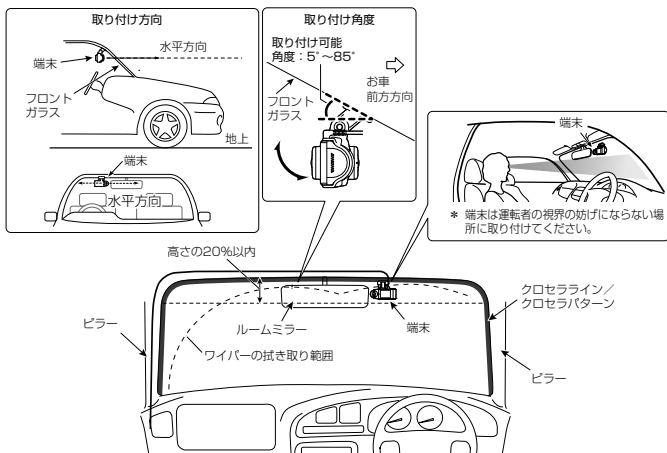
取り付け指定位置について

端末は、以下の条件をすべて満たすお車および位置に取り付けてください。また、ドライバーモニタリング機能を使うときは、必ず運転者がサブカメラに写る位置に取り付けてください。

- 端末の全体がフロントガラスの高さの上縁から 20% 以内の位置（ウエザ・ストリップ、モールなどと重なる部分およびマスキングが施されて

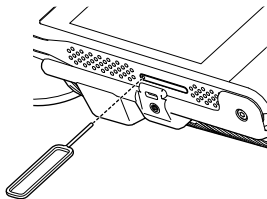
いる部分を除く実長の20%以内の範囲)

- ウェザーストリップ: ドアとドア枠の隙間をふさぐためのゴム製のパーツ。
- モール: ウインドの周りのガラスとボディーの隙間をふさぐためのゴム製のパーツ。
- 端末のカメラ部分がワイパーの拭き取り範囲内に入る位置
- 端末のカメラ部分がサンシェードやクロセラライン・クロセラパターンにかからない位置
 - クロセラライン、クロセラパターン: フロントガラス端の黒色のドット部分。
- 車検ステッカーやルームミラーと重ならない位置
- 運転席から端末に手が届く位置
- 画面が見やすく運転者の視界の妨げにならない位置
- 運転支援システムの妨げにならない位置
- 端末が前方および左右に対して水平方向を向く位置
- シガーライター電源ケーブルが無理なく引ける位置

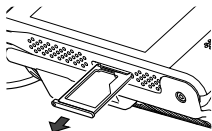


端末の取り付け方

- 1 microSD カードトレイの穴に、
端末に付属のピンを差し込みます
microSD カードトレイが出てきます。



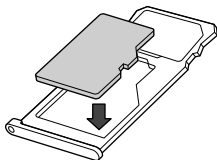
- 2 microSD カードトレイを引き抜きます



- 3 付属の microSD カードを装着します

端子のある面を下側にして装着してください。

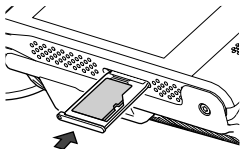
microSD カードトレイには nanoSIM カードも装着できます。



⚠ 注意

- microSD カードの端子部分には触れないでください。接触不良の原因になります。

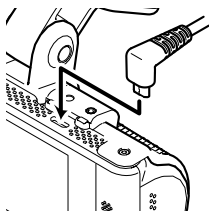
- 4 microSD カードトレイを端末に
差し込みます



5 付属のシガーライター電源ケーブルのマイクロ USB 端子を端末上面の電源端子 (DC IN 5V) に挿し込みます

カメラレンズのカバーシートを剥がしてください。

端末にマイクロ USB 端子を挿し込むときは、端末の電源ボタンに触れないようにしてください。



6 付属のシガーライター電源ケーブルのシガープラグをお車のシガーソケットまたはアクセサリースOCKETに接続します

接続した際に、端末が起動してしまう車種 (常時電源車など) の場合、端末を利用しないときは必ずシガーソケットまたはアクセサリースOCKETからシガープラグを抜いてください。抜き忘れるとお車のバッテリー上がりの原因となります。

⚠ 注意

- 電源ケーブルの被膜を切って、他の機器の電源を取るなど、分岐配線をしないでください。電源ケーブルの電流容量がオーバーし、ケーブルが過熱して、火災や感電、故障の原因となります。

7 お車のエンジンをかけます

お車を平らで安全な場所に停め、サイドブレーキをしっかりとかけてから、エンジンをかけてください。

お車のエンジンと連動して、端末の電源がオンになります。

電源がオンになると起動します。お車のエンジンをかけるときは、端末の電源ボタンに触れないようにしてください。

📌 メモ

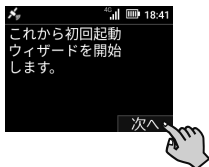
- 正しく給電している場合は、付属のシガーライター電源ケーブルの給電インジケーターが点灯します。



8 「初回起動ウィザード」の開始画面で、 [次へ]にタップします

メモ

- 端末に異常などがあるときに、メッセージが表示されることがあります。詳しくは取扱説明書を参照してください。

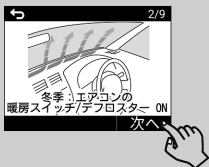


9 取り付け指定位置 (→P.6) を確認し、 端末の取り付け予定位置を決めたら、 [次へ]にタップします



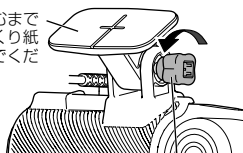
注意

- 台座の両面テープは 15 °C 以下で、低温になるほど接着力が弱くなります。冬季などで気温 15 °C 以下のときは、エアコンの暖房設定を最大にしてフロントガラスを暖めてから取り付けてください。

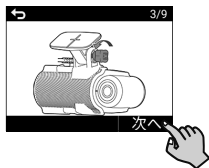


10 端末固定ネジを緩め、フロントガラスの傾斜に合わせて端末が垂直になるように角度を調整して、 [次へ]にタップします

手順 16 に進むまで両面テープはくり紙を剥がさないでください。



端末固定ネジ



フロントガラス

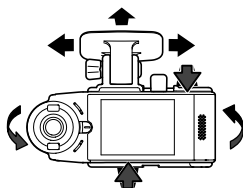
11

お客様のお車の前方映像が映りますので、フロントガラスに密着させた状態で、画面中央の十字マークを、お客様のお車の前方中央に合わせます

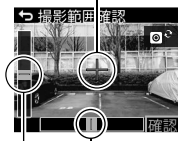
また、画面左側と下部の2箇所の緑色の範囲に白いバーが入るように調整します

画面下部の白いバーが緑色の範囲に入らない場合は、端末が水平になるように取り付け予定位置を変更してください。画面左側の白いバーが緑色の範囲に入らない場合は端末の前後の角度を変更してください。

手順 16 に進むまで両面テープはくり紙を剥がさないでください。



十字マーク



緑色の範囲に白いバーが入るように調整してください。

12

調整ができれば端末固定ネジを軽く締め、そのままの状態ですべてのカメラにタップします



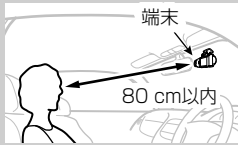
13 サブカメラの映像を調整します

運転者の顔が障害物などにかくれたり、画面の外にはみ出さないようにサブカメラの角度を調整してください。



⚠ 注意

- ドライバーモニタリング機能を使うときは、運転者との距離が 80 cm 以内になるように端末を取り付けてください。



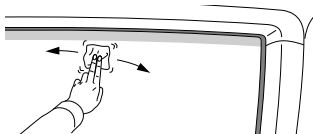
14 サブカメラの映像を調整できたら、[確認]にタップします

自動的に取り付け角度の確認が行われますので、そのまま動かさずにしばらくお待ちください。手順 15 の画面が表示されたら、端末をフロントガラスから離してください。

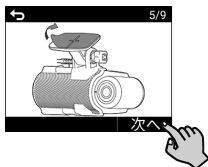
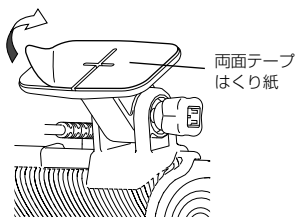
上下を反転して取り付けようとしているときは、確認メッセージが表示されます。正しいときは [はい] にタップします。



15 付属のアルコールクリーナーで取り付け予定位置の汚れ、油などを取り除いたら、[次へ]にタップします



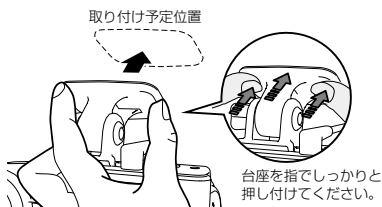
16 台座の両面テープはくり紙を剥がしたら、[次へ]にタップします



17 画面中央の十字マークを、お客様のお車の前方中央に合わせ、取り付け予定位置に端末を貼り付け、端末固定ネジをしっかりと締めたら、[確認]にタップします

画面左側の白いバーが緑色の範囲に入らない場合は端末の前後の角度を変更してください。

カメラレンズのカバーシートを手順5で剥がしていない場合は剥がしてください。



⚠ 注意

- 手順15のフロントガラスの表面が乾いてから、台座を貼ってください。
- 台座の両面テープは貼り直しすると粘着力が低下します。製品落下の危険があるため貼り直しとしないよう、十分ご注意ください。
- 端末固定ネジがしっかりと締められていない場合は、頻繁に事故かどうかを確認する画面が表示されたり、危険挙動警告音が鳴ったりします。

18 サブカメラの映像を確認して、[確認]にタップします

自動的に取り付け角度の確認が行われます。確認中は端末に触れないでください。

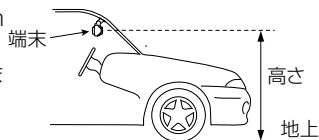
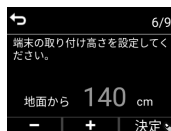


19 [-] / [+]にタップして地面から端末までの高さを設定したら、[決定]にタップします

メジャーなどで高さを測ってください。

高さは 100 cm から 350 cm まで設定可能です。

[-] / [+]にタップしたままにすると、数字を早く送れます。

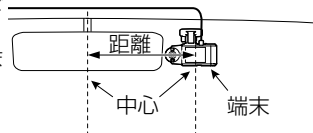
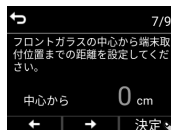


20 [←] / [→]にタップしてフロントガラスの中心から端末の中心までの距離を設定したら、[決定]にタップします

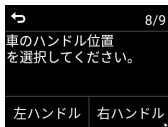
メジャーなどで距離を測ってください。

距離は 99 cm まで設定可能です。

[←] / [→]にタップしたままにすると、数字を早く送れます。






21 ハンドルの位置を選んでタップします



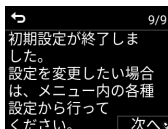
22 [次へ]にタップします

最後に、屋外で端末画面上部の GPS 表示および通信の電波強度が下図のように有効になっていることを確認してください。



 や 、 が表示されている場合、特殊加工ガラスなどのため電波を受信できていないおそれがあります。販売店にご相談ください。

初期動作確認は以上で終了です。



23 お車のエンジンを切ります

お車のエンジンと連動して端末の液晶モニターが自動的に消灯し、スリープ状態 (→ P.5) になります。

メモ

- 手順 22 で [次へ] にタップしないでお車のエンジンを切ると、再度エンジンをかけたときに初期動作確認が始まります。必ず [次へ] にタップして、ホーム画面が表示された事を確認してからお車のエンジンを切ってください。

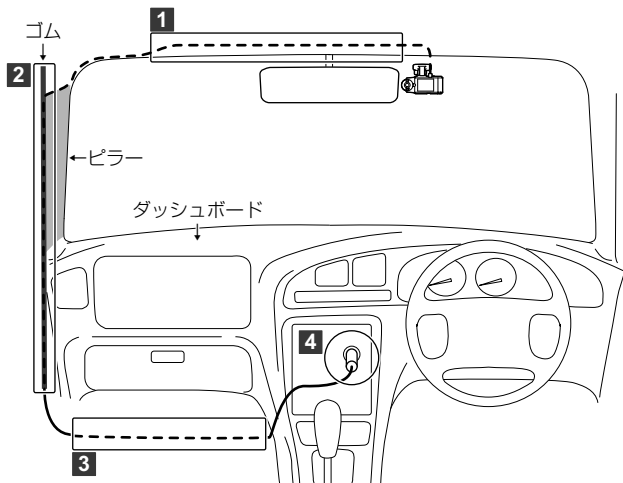
24 シガーライター電源ケーブルのシガープラグを車のシガーソケットまたはアクセサリースOCKETから抜きます

25 「ケーブルの取り付け方」 (→ P.16) に進みます

ケーブルの取り付け方

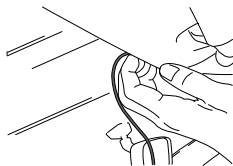
⚠ 注意

- ピラーカバー内およびフロントガラスと天井の間隙の金属部やプラスチック部は鋭利になっている場合があります。軍手などの手袋を着用して、手を保護して作業することをお勧めします。
- 金属部にコードがめくれて接続すると、ショートの原因になりますのでご注意ください。



1 フロントガラスの上にケーブルを挟みます

端末から延びるケーブルを、手でガラスと天井の間隙に押し込みます。端末から天井までのケーブルの長さには余裕を持たせてください。ケーブルが引っ張られた状態で設置、使用を続けると変形による断線やショートの原因となります。

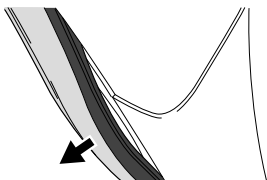


2 ピラーに沿ってケーブルを通します (以下の2つのケースからお選びください)

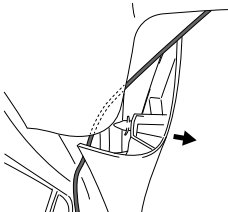
【ケース 1】

ピラー周囲のゴムをめくることができ、隙間が作れるお車の場合

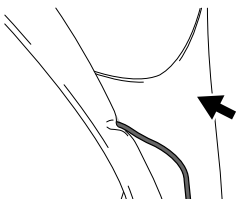
ピラーカバー上端の周囲のゴムをつまみ、下に引いて剥がしてください。剥がしたゴムは、押し込めば簡単に元に戻すことができます。



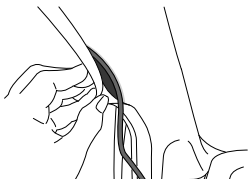
空いたゴムの隙間から指を入れてピラーカバーを外し、ピラーの中を通してケーブルをゴムのところまで引きます。ピラーカバーを外す際は手前に引っ張る要領で力を入れてください。



ピラーカバーを閉じ、ゴムを押し込んで戻します。



ピラー周囲のゴムをめくり、中にケーブルを挟み込んでダッシュボードの脇までおろします。



ダッシュボードの脇まで来たら、ケーブルをダッシュボードとゴムの間に押し込み、床までケーブルを持ってきます。

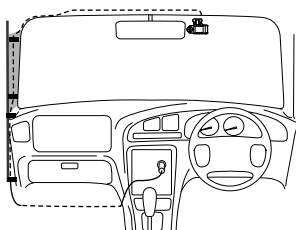
*ケーブルをダッシュボード脇のゴムの間に押し込めない場合は、ケーブル固定用テープでダッシュボード脇に貼りつけてください。



【ケース2】

ゴムをめくることができず、ピラー表面が樹脂製のお車の場合

ケーブル固定用テープを使ってケーブルをピラー上、およびダッシュボードの横に貼り付けてください。

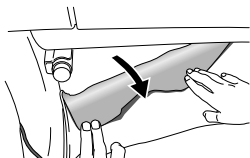


⚠ 注意

- ケーブル固定用テープはフロントガラスには貼らないでください。

3 フロアマットを剥がし、下にケーブルを納めます

ケーブルの長さが余る場合は、フロアマットの下に収納します。ケーブルの長さは必要以上に突っ張らない様に、余裕を持たせて配線してください。



4 お車のシガーソケットまたはアクセサリソケットにシガーライター電源ケーブルのシガープラグを差し込んで完成です

取り付けの確認

正しく取り付けできたか確認してください。

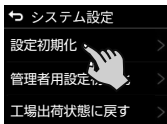
- 端末は運転席から手の届く位置に取り付けられていますか？
- 液晶モニターが運転席から確認できますか？
- 端末固定ネジはしっかりと締まっていますか？

端末の付け替えについて

端末を別のお車に付け替えるときなどは、販売店にお問い合わせいただき、付替え用キットをお申し込みください。また、現在ご利用中の端末については、次の手順でお車から取り外してください。

1 設定を初期化します

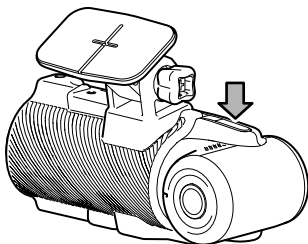
設定を初期化する画面を表示して設定を初期化してください。詳しくは取扱説明書を参照してください。



メモ

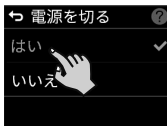
- 設定初期化をしても映像データは残ります。映像も消去したい場合、端末でSDカード初期化を行ってください。詳しくは取扱説明書を参照してください。

2 電源ボタンを2秒以上押し続けます



3 [はい] にタップします

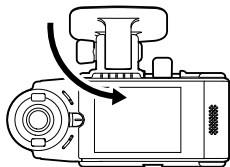
端末のステータスLEDが消灯したら、電源オフ完了です。



4 台座の根元にゆっくりと横向きに力をかけフロントガラスから台座ごと端末を取り外します

廃車などで台座がそのまま残ってもかまわない場合、本作業は不要です。

フロントガラスなどを傷つけないため、力はゆっくりとかけてください。

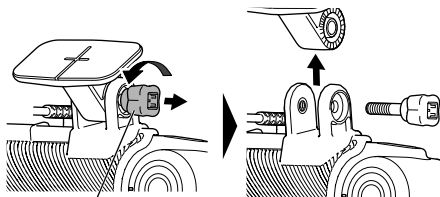


メモ

- 必要に応じて、樹脂製のへらなどをお使いください。
- 両面テープを剥がすには強い力が必要です。事故やケガの原因とならないよう十分ご注意ください。

5 端末固定ネジをまわし、端末を台座から取り外します

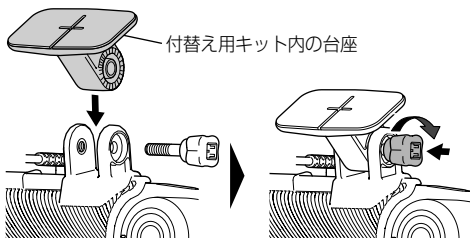
電源ケーブルを端末から取り外したのち、端末上部の端末固定ネジをまわして端末を台座から取り外してください。



端末固定ネジ

4 台座を端末に取り付けます

付替え用キット内の台座を端末に取り付けてください。



5 端末を取り付けます

取り付けたいお車で改めてシガーライター電源ケーブルのシガープラグをシガーソケットまたはアクセサリースOCKETに挿し、お車のエンジンをかけてください。

端末の初期動作確認が開始されますので、指示に従って再度取り付け・設定してください。端末の取り付け位置などは、新しい位置に合わせて設定してください。→P.8の「端末の取り付け方」

商標・著作権

- Bluetooth[®] ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パイオニア株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。



- microSDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。



- Wi-Fi CERTIFIED ロゴは Wi-Fi Alliance の認証マークです。



- Macintosh は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel Core は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
- QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。
- 記載の社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

製造元

パイオニア株式会社

〒113-0021

東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート

< KHTZ19A > < CYR1237-A >